

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合って、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できない	できっていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	関辺小	16.7	50.0	27.8	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」と答えた児童を合わせると6割以上となり、「分からなかったことがあります」と答えた児童を合わせると4割未満となります。また、「どちらかといえばできない」「できない」と答えた児童が約1割未満となっています。児童たちは、自分の学び方を見直す意欲があることが伺えます。
- 「もっと知りたい」「分かりたい」という次への意欲につながっていくような授業づくりを心がけていきます。また、自主学習のよい取り組みを学級全体に知らせるなどして、意欲をもって自主学習にも取り組めるようにしていきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	関辺小	5.6	16.7	22.2	50.0	0.0	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 6年生の家庭学習の目安は70分以上（学年×10分+10分）としていますが、1時間未満の児童が5割以上となっていることは課題です。家庭学習カードを使って家庭学習の計画を立てたり、時間をチェックしたりしてきましたが、習慣化が図られていないと考えられます。もう一度家庭学習の意義について確認し、計画の仕方についてもアドバイスしていきます。
- ご家庭でも「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、励ましの声かけをお願いいたします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	関辺小	11.1	44.4	38.9	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 普段の授業の中で学習を振り返る時間を設定し、分かったことや分からなかつたことを見つめ直すことができるようになっています。徐々に自分の言葉でその授業で学んだことをまとめることができるようになってきています。今後も振り返る時間を継続し、次の学習につなげができるように指導していきます。
- 算数科では、最後に練習問題に取り組むことで「本当に分かったのか」を確かめることができますようにしています。「分かった」という実感がもてるよう、今後も継続していきます。

4 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	33.8	47.5	14.2	4.4
6	関辺小	5.6	55.6	22.2	16.7

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童を合わせても61%と全国平均を大きく下回る結果となりました。「人の役に立つ人間になりたいと思うか」という質問に対しての回答も全国平均を下回っており、これまでに「役に立ってよかったです」と感じた経験が十分ではなかったのではないかと考えられます。最高学年として、学校のために、下級生のために頑張っている今の姿をしっかりと認め、社会の一員としての役割を考えることができるように働きかけていきます。
- 運営ビジョンでもお知らせしたように、本校では、保護者・地域・関係団体との連携を図り、体験活動の充実を図っていくことに力を入れています。今後もそういういった活動の中で地域とのつながりをもち、地域を大切に思う心を育てていきます。